



らいふすてーじの記事について紹介した、4月号「らいふすてーじ入門（基礎編）」は、読んでいただけましたか？この記事はその上級編として、らいふすてーじの記事がどのように作られていくのかをご紹介します。毎月発行されるらいふすてーじは、編集部員の汗と涙と愛の結晶なのです。（Amy）



STEP 1 企画立案

僕、頼富。らいふすてーじ編集部員なんだ。らいふすてーじ編集部では、毎月「らいふすてーじ」を制作している。僕も今度記事を書こうと思うんだけど、何かネタになるようなことはないかな？

……あ！ そうだ！ あれについて書いたら、いい記事ができるんじゃないか？
そうと決まればさっそく**企画書**を作らなきゃ。次の会議まであまり時間がないぞ。

Memo

らいふすてーじ：この冊子のこと。ここではらいふすてーじがどうやってできるのかを紹介する。

企画書：らいふすてーじの記事作りに欠かせないアイテム。企画者が制作・更新しそれを元に編集会議が進められる。



STEP 2 編集会議

今日は今月最初の**編集会議**。今日からついに僕の記事についての論議が始まるんだ。他の編集部員はどんな反応をしてくれるだろう？

「頼富、この書き方じゃ伝わりにくいんじゃないか？」

「こんな情報も入れてほしいな」

「インタビューを入れてはどう？」

やっぱり他の人の意見を聞くのは役に立つな。毎週会議で指摘された疑問点や改善案を直して、よりよい記事を作っていくんだ。僕の記事では、当初予定していなかったインタビューを行うことになった。

そして、ついに僕の記事の掲載が決定した。記事作り頑張るぞ！

Memo

編集会議：毎週1回、木曜日に開かれる会議。ここで記事の論議が行われる。原則として2ヶ月後に発行される号に掲載する記事を論議し、4回の編集会議を経て記事の掲載が決定する。



STEP 3 取材

記事を執筆する前に、**取材**をしなきゃ。先方に申し込んで、アポを取ることができたぞ。予定の時間までもうすぐだ。インタビュー内容はメモして確認してあるけど、やっぱり緊張するな。

「よ……、よろしくお願いします！」

インタビューの会話内容は、レコーダーで録音しておくんだ。

「まず、〇〇についてですが……。」

「ああ、それはね……。そういえば、こんな話も……。」

「そうですか。それで、さきほどの質問ですが……。」

とりえず聞きたいことは全部聞けたぞ。あとは**文字起こし**をして記事を執筆するだけだ。

Memo

取材：専門的な内容を確認したりインタビューをしたりする。せっかくなので、取材を受けてもらえずに日の目を見ないという悲しいこともある。

文字起こし：レコーダーで録音した内容を文字にすること。インタビュー量が多い記事ではその分文字起こしに必要な時間も膨大なものになる。

はみだし
すてーじ

そろそろ年賀状書くか。
⇒なんて言ってる人が編集部にもいますよ。
※所属・回生は投稿当時のものです。



STEP 4 記事執筆

実は、文字起こしの必要な記事を書くのは初めてだったんだ。予想以上に時間がかかり、**初稿**を提出するのが締め切りギリギリになってしまった。みんなごめん。

そして、今日は**集中作業**。編集部員が集まって記事を完成させる日だ。僕の初稿には、たくさん**敲き**が入っているな。字の間違いや、わかりにくい言い回し、レイアウトが指摘されている。その訂正をしてと。もう一度敲きお願い！

AM
11:15

僕も、他の記事を敲こう。あ、捨路さんの十人十色があるな。

十人十色は2人以上の人が会話しながら投稿を紹介していく定番記事。でも、1人の編集部員が掛け合い全てを考えることが多いんだ。捨路さんが1人で2人分の掛け合いを考えているところを想像すると、なんだか面白いな。

PM
3:20

記事本体が敲かれている間に、はみだしすてーじの内容でも考えようかな。はみだしすてーじは、基本的にそのページの記事を書いた編集部員が自由に投稿を選んで書くことができるんだ。

投稿の選び方やコメントのつけ方に編集部員それぞれの個性が見られるな。

PM
6:55

クロスワードの抽選も、集中作業中に行うんだ。クロスワード当選者の中から毎月10人に生協店舗でプリペイドカードに加金できるオンバリュー券1000円分が当たるんだ。

ちなみに抽選倍率は毎回10倍程度。こんなに当たりやすい懸賞はないと思うけれど……、編集部員は応募することができないんだ。残念。

敲きと訂正を何度か繰り返して、記事が完成した。この記事はインタビューを含むから、**原稿チェック**に行かなくちゃ。

(数時間後)

何箇所か直されているな。こことここを直すと……、行が増えてしまう。そうすると今までのレイアウトが台無しだ！ **出稿**までもう時間がない。でも、良い記事を作るためだ。あと少しだ！

こうして、翌月の1日にらいふすてーじは発行されるのです。

Memo

初稿：執筆者が最初に作った原稿のこと。

集中作業：毎月1回、編集部員が総出で丸1日かけて記事の完成を目指す作業。

敲き：執筆中の記事を他の編集部員がチェックし不備の指摘などを行うこと。

Memo

原稿チェック：取材元に原稿を見せ、間違いがないか確認してもらうこと。

出稿：原稿を印刷会社に渡すこと。この日が原稿の最終締め切りとなる。



STEP 5 編集長

これまで、らいふすてーじについて色々な紹介をしてきましたが、最後に、編集長に質問をぶつけてみました。

1. 好きな定番記事は何ですか？ その魅力は？

ACADE見ICです。オーソドックスなインタビュー記事ですが、普段週1回の講義でしか会えないような、もしくは全く会えないような先生方に、直接お話を聞くことができます。1時間から1時間半ほどの短い時間の中で、色々なことを聞いたり質問したりしていると嬉しくなりますね。その道のプロなわけですから。

2. 記事のネタはどこから拾ってくる？

個人で差はあると思いますが、私の場合は「思いつき」です。生活の中で見たものを「ひょっとしたら記事になるんじゃないか？」とふと思って企画書を作り、ひとつの記事が誕生する……という場合が多いですね。他には「新聞を読んでいて」、「自分の趣味から思いつく」、「読者の投稿から」という編集部員もいます。

3. 記事を書くにあたっての喜び、苦勞を教えてください。

読者の方に読んでほしいわけですから、読みやすい誌面作りを心がけています。その誌面作りの過程でレイアウトがどうやっても見にくい、など色々な苦勞があります。でも、試行錯誤のうちにイメージした通りの誌面を作れたときは嬉しいですね。

4. 最後に、らいふすてーじ読者へひとことお願いします。

月並みですが……いつも読んでくださってありがとうございます。これからも編集部員一同、一生懸命らいふすてーじを作っていくので、どうか末永くよろしくをお願いします！



▲紳士的な笑顔が魅力の頼れる編集長。顔写真を掲載できないのが誠に残念である。

はみだし
すてーじ

返事はいつも編集長1人で書いてるんですか？
⇒という疑問に答えるためにこの記事を考えました。

(農・1 めげせ脱無職)
(全部書いたら編集長大変ですよ；編)